

令和5年6月7日

関係各位

大阪医科薬科大学病院
病院長 南 敏明

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）検出に伴う対応について

当院において、一つの病棟で「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）」と呼ばれる抗菌薬に耐性のある菌を持っている患者さんが複数認められました。現在、いずれの患者さんも感染症の発症には至っておらず、CREを保菌している状態にあると考えられます。

当院では、この事態を重く受け止め、高槻市保健所へ直ちに報告するとともに、このことが院内感染によるものかどうか、院内感染であればその原因を院内の感染対策部門を中心に高槻市保健所と連携を図り調査を進めています。また、同時に感染対策の徹底と定期的な検査を通常以上に実施することとしています。

患者さんをはじめ、当院で医療を受ける皆様に多大なるご心配をおかけすることとなり、職員一同、心より深くお詫び申し上げますとともに、原因の究明と院内の感染対策をより強化する所存ですので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、今後の経過については、当院 Web サイト上で随時報告してまいります。

以上